

世話やきおじさん・おばさんになろう

～新しいコミュニティの中で、新しい人生に向けてステップアップ～

3 壮年の世代

子どもたちが育ち、手がかからなくなった私たちは、時間的に余裕も生まれ、各世代のリード役を担い、社会のリーダーとして活躍したいと思います。自分が一人の人間として、どんなふう生きていくのか、第2の人生を控えて意識改革をし、男性も女性も積極的に地域社会にかかわっていくべきでしょう。

(1) 地域コミュニティの再構築

コミュニティの中に新しい価値観の市民が加わったり、地域にかかわることを疎ましく思う市民も増えるなど、人と人のつながりが希薄になりつつあります。その中で、開かれた民主的な地域コミュニティづくりや、近隣の子どもの世話をやいたり、地域活動を通じて遊んだり、対話が生まれるコミュニティを再構築していきたいと思います。

(2) 緑、自然、歴史を次世代に伝える

身近に感じられる自然や生け垣など、家の周辺の緑を大切にしたり、農作業などをすることで四季の移り変わりを感じたいと思います。また、自然を取り

入れた公園づくりに参加したり、里山や河川の保全に努力し、緑を次世代に引き継ぐことに努めたいと思います。

歴史的な建物や祭りなどの文化的な施設や行事だけでなく、公害の歴史も含めて次世代に引き継ぐための、中心的な存在になりたいと思います。





(3) 環境問題でも社会のリーダーに

四日市だからこそ経験や身に付けた技術を生かして、環境問題についても社会や地域のリーダーとして、積極的に環境学習やリサイクルの実践、ボランティアへの参加などをしてしたいと思います。

(4) 移動の手段や時間を楽しもう

時間的にも心の中にも余裕を持って移動したいと思います。移動のプロセスも生活の一部にしたいと思います。

車を使う機会をできる限り減らし、車を使わないライフスタイルに変え、歩いたり自転車を利用することで、健康を維持したり自然やまちに触れたいと思います。また、公共交通機関を利用すると、さまざまな人と出会うことができます。

そのために、自転車・歩行者と車とのすみ分けをした道づくりや低料金のバス網の充実が必要です。

(5) コミュニケーションや遊びの拠点づくりを

市街地の中に、私たちが手軽に出掛けて行き、集まって情報交換する場所や個人的にゆったりくつろいだり、文化に触れたりする場所が必要だと思います。そこは、市のシンボル空間があり、何でも揃っていて、自然にさまざまな人が集まり、コミュニケーションのチャンスが広がり、一人でもまちを回遊できるような場所にしたいと思います。

